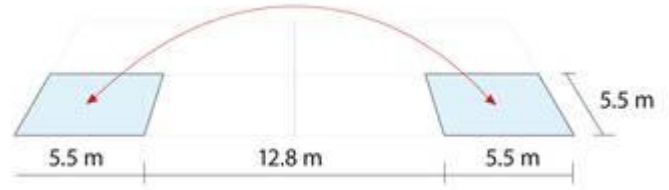


スピードバドミントン競技のルール(ISBO:世界スピードバドミントン協会認定)

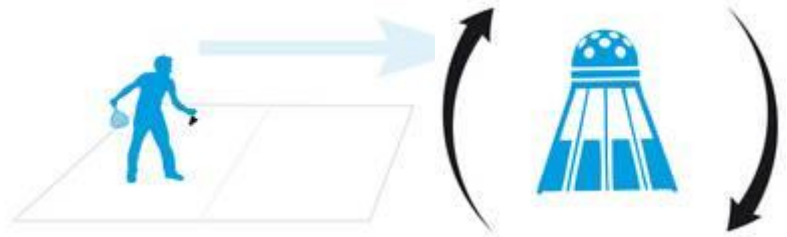
<試合>

それぞれのセットは 16 点マッチで行う。15-15 となった場合はジュースとなり、どちらかが 2 点差をつけるまで続行する。5 セットマッチで、どちらかが 3 セット取るまで行う。(日本国内、または大会によっては、3 セットマッチで行う)



<サービス>

選手はスピーダーを落として、どちらが先にサービスを行うか決める。(トスに勝ったチームはサービス、レシーブ、コートのうちどれかを選ぶことができる) サーブは常に 3 本交替。すべてのサービスはカウントされる。15:15 になった後はサービスは 1 本ずつ交代とする。



サービスはサービスゾーン(サービスラインより後ろ、後述の<付録>参照)の中から打たなくてはならない。スピーダーを腰の位置から落とし、それを床に着くまでの間に打つ。セットを失った選手が、次のセットの最初のサービスを行う。

<得点>

以下の時に得点となる。

1. サービスの失敗
2. スピーダーが地面に落ちたとき
3. スピーダーがコート内またはライン上に落ちて返せなかったとき
4. スピーダーがアウトになった時
5. 一人の選手が続けて 2 回打ったとき
6. 体がスピーダーに触れた時

もし選手がアウトになったスピーダーを打ち返した場合、同意の上ということで競技は続けられる。

<コートチェンジ>

選手は、コートのコンディション(風、光など)を同等にするため、各セット終了後にコートチェンジをする。第 5 セット(タイブレーク、またはフルセット)をたたくことが必要になった場合、各選手は 6 ポイントごとにコートを交代する。

